

FINESIA[®] 専用器具のメンテナンスについて

専用器具の使用前・使用後には、適切なメンテナンスを行ってください。

メンテナンスが適切でないと、器具の性能が早期に低下したり*）さびが発生したり*）することがあります。

* 器具の劣化により、期待される臨床的な効果が得られないばかりでなく、術中に器具が破損する危険性も高くなります。

* 塩素を含む水道水や硬度の高い水を使用すると、洗浄効果の低下や器具の劣化を招くおそれがあります。洗浄、消毒などで使用する水は、精製水や軟水装置を使用して水質改善した水を使用することをお勧めします。

専用器具の取り扱い手順

使用した器具を洗浄・滅菌する場合は、作業者の感染防止のため、手袋・防水性エプロン・マスク・ゴーグルを着用してください。

1 術中の器具の取り扱い

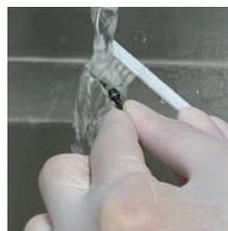
使用した器具は、精製水や生理食塩水が入ったシャーレに入れ、乾燥させないようにしてください。



2 流水による洗浄

流水下で器具についた血液等の目に見える汚れをやわらかいブラシ等で落としてください。

※ 金属ブラシ・ワイヤーブラシは使用しないでください。



3 医療用洗浄剤による超音波洗浄

血液等のたんぱく質を除去するため、医療用洗浄剤で超音波洗浄を5分以上行い、その後水洗いを行います。

※ 医療用洗浄剤は、各メーカーの指示に従ってください。

※ 超音波洗浄中にドリルと器具が接触すると刃こぼれをおこすことがありますので、取り扱いにご注意ください。

※ 確実に、酵素洗浄剤を落とすため、水洗後精製水で超音波洗浄をすることをお勧めします。



4 乾燥

速やかに、不織布等で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

※ 拭き取る際に、繊維が器具に残らないような、マイクロファイバー素材等の不織布を使用することをお勧めします。



5 保管

■手術日が近い場合の滅菌・保管

滅菌バッグ等を使用して、滅菌を行ってください。滅菌後、清潔な場所に保管してください。

■手術日が長期間空く場合の保管・滅菌

④までの工程を行った後にケースやバッグ等に入れ保管し、手術前に滅菌を行ってください。

※ 保管する器材は、完全に乾燥していることを確認してください。さびの原因になります。



※ ウォッシャー・ディスインフェクターを使用する場合は、メーカーの指示に従って、洗浄・滅菌を行ってください。

滅菌について

○汚れた水、硬度の高い水を用いてオートクレーブ滅菌を行うとさびの発生の原因となることがありますので、定期的に水の交換やメンテナンスを行うことをお勧めします。

○サージカルケースに器具を収納し、滅菌する場合は、完全に器具とサージガイドケースを乾燥させ、予めサージカルケースを滅菌バッグに入れておいてください。

○滅菌器にサージカルケースを通法通り入れて滅菌してください。

オートクレーブ条件

保持温度	保持時間
121~124℃	15分間
126~129℃	10分間

・滅菌条件例

第16 改正日本薬局方 参考情報 微生物殺滅法 2. 滅菌法 2.1 加熱法 (i) 高圧蒸気法による。

保持温度及び保持時間は右表参照で行う。

滅菌器具の管理について

○器具に水分が付着したままの状態での保管しないでください。器具がさびる場合があります。

○滅菌バッグは重ねて保管しないようにしてください(滅菌バッグの破れを防ぐため)。

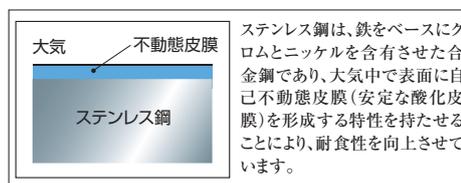
○紫外線を使用する殺菌灯での保管をさけてください(プラスチック類、既滅菌済み滅菌バッグの劣化を防ぐため)。

○汚染される可能性にさらされたもの(落とす、濡れる等)は、再洗浄の上、再滅菌をしてください。

○滅菌後の滅菌バッグを開封すると、滅菌状態を保つことはできませんので、速やかにご使用ください。

ステンレス鋼製器具に発生するさびについて

専用器具のほとんどがステンレス鋼を使用しています。ステンレス鋼では、その表面に形成される不動態被膜が保護膜として働くことにより、さびの発生を防いでいます。しかし、不適切な管理によりこの被膜が破壊されると、さびが発生することがあります。



不動態被膜の破壊には、①高濃度の塩素イオンによって不動態被膜が破壊される場合と、②機械的に不動態被膜が破壊される場合があります。

① 高濃度の塩素イオンに器具がさらされる場合

血液、体液などが付着したまま保管



塩素を含む消毒液の使用

塩素成分を含む主な消毒液
 ・次亜塩素酸ナトリウム系消毒剤
 ・クワトロヘキシジン系消毒剤
 ・塩化ベンザルコニウム系消毒剤
 ・強酸性水



水道水(塩素を含む)のみで洗浄後、濡れたまま保管

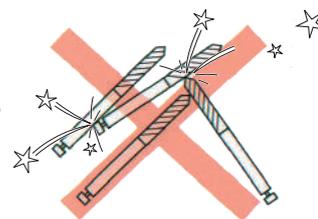


② 機械的に不動態皮膜が破壊される場合

金属ワイヤー・ブラシの使用



他の金属製品との接触



滅菌工程におけるもらいさび

オートクレーブ内の水にさび粉末が混入することにより、さびが専用器具の表面に固着することがあります(もらいさびと言われます)。オートクレーブ内の水は定期的に交換し、内部を清潔に保つように心がけてください。詳しくは、オートクレーブの取り扱い説明書をご確認ください。



京セラ株式会社 メディカル事業部

<https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/index.html>

本社 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501
Tel:075-778-1982 Fax:075-778-1983

東京事業所 東京都品川区東品川3丁目32-42 1・Sビル 〒140-8810
Tel:03-5782-7018 Fax:03-5782-8518

札幌営業所 札幌市中央区北1条西3丁目3(札幌Mビル10F) 〒060-0001
Tel:011-555-3288 Fax:011-281-6525

名古屋営業所 名古屋市中区東3丁目15-31(住友生命千種ニュータービル6F) 〒461-0004
Tel:052-930-1480 Fax:052-938-1388

大阪営業所 大阪市淀川区宮原3丁目3-31(上村ニッセイビル9F) 〒532-0003
Tel:06-7178-1898 Fax:06-6350-8157

岡山営業所 岡山市北区磨屋町10-16(あいおいニッセイ同和損保岡山ビル4F) 〒700-0826
Tel:086-803-3625 Fax:086-225-2289

九州営業所 福岡市博多区博多駅東2丁目10-35(博多プライムイースト7F) 〒812-0013
Tel:092-452-8148 Fax:092-452-8177



www.finesia.world

「FINESIA」は京セラ株式会社の登録商標です。

© 2019 KYOCERA Corporation
200107高 D-148-1